

啓発活動・連携強化WG

- 病診連携・診診連携
- 産官学との連携
- メディカルスタッフとの連携
- 高血圧診療マスタークラス
- 循環器病予防療養指導士



各メンバーが地元の状況をテーマごとに報告し合う

病診・診診連携について

- 柘植俊直先生 (神奈川県茅ヶ崎市)

高血圧は専門でなくても内科医でなくても診ている環境

二次性高血圧の見落としがあるのではないか？

高血圧に詳しい先生が**診診連携**を行うことが重要

- 吉田哲郎先生(福岡県遠賀郡)

おんが病院における**病診連携**について

年間150-200名の治療抵抗性高血圧患者紹介

原発性アルドステロン症を地域で診る取り組み

鳥取県での産官学連携について

- 鳥取大学研究推進機構に減塩加工食品の開発協力を相談

大学

産学連携・機能性食品開発部門

- 鳥取県産業技術センター食品開発研究所との連携

行政

鳥取県内食品関連企業・自治体を対象に

令和2年2月「食品開発と健康に関する研究会」を開催

出席者: 企業24名(21社)、自治体3ヶ所 合計27名

企業



基調講演



開発中の減塩食品の試食



質疑応答

減塩干物の開発(約37%の減塩に成功)



干物の作り方
魚を開く



塩水につける



乾燥させる

干物の製法は江戸時代からあまり変化がない(保存のため10~15%食塩水に漬ける)
地元漁師の**美味しい**干物は海水(3.4%食塩水)に漬ける

低塩アカモクうどん

うどんのつなぎとして塩の代わりにアカモクの粘りを利用



当院の病院食に採用
1食あたり1g減塩できると
メニューが立てやすい

美味しさを変えない
地場産業を活かした減塩

うどん1食あたり約1gの食塩→ほぼ0gに！

実地医家部会の威力!!



日本高血圧学会実地医家部会の
水田と言います
仲間に入れてほしいのですが・・・



私達の活動に ← 相手の手柄にする
日本高血圧学会が後押ししてくれるのですね！
ぜひ協力してください！

2023.5.3
縁結びの神様 出雲大社

啓発活動・連携強化WG

- 病診連携・診診連携
- 産官学との連携
- メディカルスタッフとの連携
- 高血圧診療マスタークラス
- 循環器病予防療養指導士

井戸端会議のような雰囲気を目指したい
(柘植リーダー)



各メンバーに現状を語ってもらい情報を共有し各自の活動に活かす